



庭と住まいを訪ねる

ビズ英国特別の旅

この旅で新しい英国を発見!

今までイメージだけの世界であった英国人の住まいを訪れる機会が生まれました。郊外の可愛いコテージやテラスハウス、カントリサイドの優雅なモダニズムの邸宅、壮大なマナーハウスを訪問、室内インテリアとお庭を拝見しオーナーから直接暮らしを楽しむ知恵までお話いただくという特別な旅です。オーナーと心を通わせ頂く紅茶の味は格別、豊かな人生に触れる9日間です。



キャベジズ&ローズズ

Cabbages & Roses



衣料と生活雑貨ブランドの可愛いカントリー・ハウス

英国を代表するライフスタイル・ブランドの創業者兼デザインの最高責任者として活躍するクリスティーナさんのカントリー・ハウス。今日は東京、明日はニューヨークと世界を駆け巡る彼女のゲストになって半日を一緒に過ごします。C & Rの宣伝でも使われる洗練された室内と夏野菜を食卓に供給する庭の菜園、彼女の暮らし方に触れるときめきの一時を。





白いマナーハウスの住人は インテリアと庭の本の編集者



青い濠に影を落とす白いマナーハウス。1993年に地元新聞のオーナーだったスティーブンソン氏と「カントリー・ライフ」の元副編集長のレスリー夫人が購入。館は改修され、室内も家具ひとつまで吟味され、心地良い空間に。庭園はフランス風の感性を加え、地中海ガーデン、ベジタブル・ガーデンなどが話題、眺望も素晴らしい。レスリー夫人の庭とインテリアの話も楽しみ。

コロンバイン・ホール

Columbine Hall

ナイマンズ Nymans

©National Trust Images/John Miller



庭園はまるで見事な劇場 バラと草花の饗宴を味わう

庭全体が劇場のような効果を発揮し、圧倒的な構成力で訪れる人々を魅了するナショナル・トラストの名園。元の所有者、メセル家は代々プラントハンターの支援を続けていたので、花の種類も豊富で珍しい植物も多い。中でもオールドローズのコレクションは有名。トビアリーも必見の迫力だ。



©National Trust Images/Andreas von Einsiedel



©National Trust Images/John Miller



©National Trust Images/Clive Nichols



ウィリーフィールド・ウエイ

Willifield Way

アーツ&クラフツの重要建築 に今も暮らすダイアンさん

快適な郊外住環境を提供するために1907年ロンドン北部に開発されたハムステッド・ガーデン・サバープ。この家はオープン当時のもの。ダイアンさんはここに暮らして42年、毎年手を加え、この地域の優秀ガーデンにも選ばれる素晴らしいコテージ・ガーデンを作り上げた。昨年はエリザベス女王の三男で園芸が趣味のエドワード王子の訪問の榮に浴した。ダイアンさんにご案内いただく。



オークウッド・ロード

Oakwood Road



世界に先駆けた田園の住宅地 英国伝統の庭のある生活

世界で初めて街路樹や生垣を用い、公園を配した閑静な郊外の住宅地、ハムステッド・ガーデン・サバープ。日本の有名な住宅地のお手本として知られる。居心地の良い室内は白を基調にしたインテリア、ガーデンにはつるバラで覆われたパーゴラやハバイシャス・ボーダーなどが。フランクリン夫妻に、丹誠込めた自邸と庭、さらに近隣の住宅地をも案内いただく。



「バウハウス」創設者グロピウスの設計でモダン・エレガンスの粋

水平線と垂直線のコントラストが作り出す優雅なモダニズムの建築は20世紀初頭の建築・美術に大きな影響を与えた「バウハウス」のスタイル。現在はロンドンのコートールド美術館の創立者コートールド家の住まい。室内には英国のモダンアートが並び、庭は美しい国立公園に面して息をのむ景観が広がる。コートールド夫人の案内で優雅な時間を楽しむ。

Cattlegate

キャトルゲート



ヘルミンガム・ホール *Helmingham Hall*



500年の歴史を持つ館 貴族のゲスト気分を

エリザベス朝イングランドの雰囲気の色濃く残す壮麗な貴族の館。今回はトルマッシュ卿夫妻の許可を得て、特別に室内も見せていただく。トルマッシュ卿夫人のガーデンセンスが光る庭園は心躍る美しさと静寂感を併せもつ。オールドローズに囲まれた菜園には、スイートピーやヘチマのアーチ型トンネルが変化を与える。貴族の暮らしを垣間見れる機会。





サウスブルック・ロード

Southbrook Road

ヴィクトリアン様式の
郊外邸宅と刺繍花壇や
バラのパーゴラ



19世紀末にロンドンからグリニッジに鉄道が開通、市街で働く新興ミドルクラスの住宅として建てられた。庭はリングの古木に絡む‘キフツゲート’の白バラと美しいパーゴラが見事。バーバラさんのガイドで室内と庭園を。ロンドンになった気分を楽しむ。



Woolton House

ウールトン・ハウス



18世紀ジョージアンの建物に
モダンな室内と独創的な庭

インテリアデザイナーのロザムンド・ブラウンさんと建築家の夫が作り上げた家と庭。庭はフランス人のガーデンデザイナーと共に極めて独創的な色彩と質感に仕上げた。ロザムンドさんの案内で楽しむ。

The Raworth

ザ・ラワース



再生に情熱を傾けた
話題の夫妻に魅せられて

ラグビーの聖地に近いセント・マーガレットにある。1973年に入手してから営々と家と庭に手を入れBBCの人気テレビ番組「ガーデナーズ・ワールド」で紹介されるまでに。ラワース夫人の案内で見学。

Chenies Manor House

チェニーズ・マナー・ハウス



16世紀エリザベス1世も
訪れた館に御招待

マナーハウスの内部には豪華な生活を物語る調度品が並ぶ。庭園はレンガ造りの館を囲むように作られている。花の香りと色彩が強烈な印象を与えるサンクンガーデンは必見。エリザベス1世ゆかりの古木も。

この旅で新しい英国を発見!

庭と住まいを訪ねる ビズ英国特別の旅【9日間】

今回訪れる 11カ所



Cabbages & Roses キャベジズ&ローズ

本や雑誌でも評判のクリスティーナの洗練されたスタイルの室内。パーゴラやツリーハウスなど彼女の遊び心が溢れる庭。彼女と過ごすときめきの時間。



Columbine Hall コロンバイン・ホール

インテリアやガーデン誌でよく取り上げられる館と庭園は、伝統と新しさを融合させ、快適な空間を創り出したステーションン夫妻の自慢の作品。



Nymans ナイマンズ

ナショナル・トラスト最高庭園の一つ。花の種類が多いことで知られ、美しい花が競演するローズ・ガーデンやサマー・ボーダーの幻想的な美は6月の華。



Willifield Way ウィリーフィールド・ウェイ

エリザベス女王の三男エドワード王子も訪問された庭は、ガーデン・サバーブの名に相応しいコテージ・ガーデン、家はアーツ&クラフツの重要建築。



Oakwood Road オークウッド・ロード

閑静な郊外のお家とガーデンで英国ミドルクラスの暮らしを垣間見られる。日々の生活を豊かにする工夫をフランクリン夫妻から聞き出したい。



Cattlegate キャトルゲート

「モダンな暮らしを観たいのなら我家に」とのコートールド夫人からのお話。美しい国立公園を背景にした庭とホワイト・モダニズムの建物は一幅の絵画。



Helmingham Hall ヘルミンガム・ホール

社大な庭園と堀に囲まれて静かに佇む貴族の大邸宅。代々引き継がれて500年。貴族のゲスト気分庭園と庭園を散策。トルマッシュ卿夫人のお話。



Southbrook Road サウスブルック・ロード

1898年にグリニッジ近郊に建てられた新興ミドルクラスの別荘。ヴィクトリアンの様式を残す邸宅と華やかな庭園をポランスキー夫人と共に満喫。



Chenies Manor House チェニーズ・マナー・ハウス

花の香りと色彩が溢れるサンクン・ガーデンは圧巻。チューダー様式のレンガ造りのマナーハウス内には豪華な生活を物語る調度品や美術品も。



The Raworth ザ・ラワース

ラワース夫妻が40年をかけて築き上げた邸宅と庭。今やテレビ番組やガーデン誌でも話題に。各国から見学者が訪れる庭を、夫人の案内で見学。



Woolton House ウールトン・ハウス

建築家とデザイナーのブラウン夫妻の自邸と庭園。外観はジョージアン調で室内はモダンな邸宅、庭園も伝統の中に今が光る。夫人と共に優雅な一時を。

庭と住まいを訪ねる ビズ英国特別の旅9日間

コース番号: E568

出発地 東京(各地航空発着はお問い合わせください)

出発日と旅行代金 2014年6月9日(月) 439,800円(燃油サーチャージ込み)

6月16日(月) 439,800円(燃油サーチャージ込み)
 [お一人様(2歳以上)2名様1室] 6月16日(月) 439,800円(燃油サーチャージ込み)
 [ご利用の場合] お一人様部屋追加代金/90,000円

※国内航空施設使用料、旅客保安サービス料、海外空港諸税が別途必要になります。
 ※幼児(2歳未満)の参加はご遠慮いただいております。

募集人員 各出発25名様(最少催行人員15名様)

日程 旅程表を参照。添乗員同行。

食事 朝食7回、昼食2回、夕食4回(機内食は含まず)

利用予定ホテル: (イブスウィッチ)ラマダアンコールイブスウィッチ (バース)ペイルブルックハウス (レディング)レディングレイク (ロンドン)ノホテルロンドンウエスト (ブライトン)メルキュールブライトン (ロンドン/6、7泊目)グレンジタワーブリッジ●利用ホテルグレード/弊社スタンダードクラス (6、7泊目ロンドン)はスーパーリアクラス) *宿泊ホテルは、浴槽のないシャワーのみのお部屋になる場合がございます。同等クラスまたはそれ以上のクラスのホテルへ変更になる場合があります。

利用航空会社:ヴァージンアトランティック航空
 またはブリティッシュエアウェイズ(エコノミークラス)

企画協力:ビズ出版 旅行企画・実施: 阪急交通社 メディア営業二部 海外営業一課

お申し込み・お問い合わせは (株)阪急交通社
 東日本営業本部 メディア営業二部 海外営業一課
 〒153-8589 東京都目黒区青葉台3-6-28 住友不動産青葉台タワー

TEL. 03-6745-1800

受付時間/平日9:30~17:30 土・日・祝9:30~15:00(土・日・祝は電話受付業務のみ行ってまいります)

旅行企画・実施



観光庁長官登録旅行業第1847号
 総合旅行業務取扱管理者 田淵剛 黒田亮
 一般社団法人日本旅行業協会正会員

※お客様の個人情報はお客様との連絡のためにご利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供サービスの手配及び受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。運送・宿泊機関等への個人情報の提供について同意の上お申込みさせていただきます。詳しくは旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申込みください。

①2014年6月9日(月)~17日 ②2014年6月16日(月)~24日

	地域	内容	朝	昼	夕
1	成田発 ロンドン着	11:15空路ロンドンへ 15:45着後ホテルへ (イブスウィッチ泊)	—	機	×
2	サフォーク州	午前: 500年の歴史を今に伝えるヘルミンガム・ホールの華やかな庭園と豪華な館を見学、トルマッシュ卿夫人の話も。午後: ロマンチックな佇まいを見せるコロンバイン・ホールの館と庭園をレスリー夫人の案内で。(バース泊)	○	×	○
3	バース パークシャー州	午前: キャベジズ&ローズにクリスティーナを訪ね彼女の案内で室内と庭を散策後、ティーとランチも一緒に。彼女の話をデザインの源を満喫する。午後: 伝統と今を融合させたブラウン夫人の邸宅ウールトン・ハウスへ。室内のオブジェと独創的な庭が見もの。(レディング泊)	○	○	○
4	バッキンガムシャー州 ロンドン	午前: 赤レンガのマナーを背景に色彩溢れるサンクン・ガーデンが素晴らしいチェニーズへ。館の調度品も豪華。午後: 世界に先駆けて作られた瀟洒な田園郊外住宅ハムステッド・ガーデン・サバーブにダイアンさんの自邸とフランクリンさんの自邸を訪ね、洗練された室内と庭を各々案内頂き楽しみ。(ロンドン泊)	○	×	○
5	サリー州 ウエスト・サセックス州	午前: BBCの人気ガーデン番組でも紹介されたザ・ラワースの夫人が手塩にかけ育んだ庭、話を聞きながら見学。午後: ナショナル・トラストの最高庭園の一つナイマンズへ。ローズ・ガーデンやサマー・ボーダーの幻想的な美は見逃せない。トビアリーも印象的。(ブライトン泊)	○	×	○
6	イースト・サセックス州 ロンドン	午前: ダウンス国立公園を背景に洗練されたホワイト・モダニズムの邸宅キャトルゲートを訪ね、コートールド夫人の案内で邸内と庭を見学。優雅な一時を。午後: グリニッジ近郊のヴィクトリアン住宅にバーバラさんを訪ね、19世紀の様式が残る室内とガートルード・ジーキルの配色を表現した庭園を彼女の解説で楽しむ。(ロンドン泊)	○	○	×
7	ロンドン	終日フリータイム。(ロンドン泊)	○	×	×
8	ロンドン発	13:05空路帰国の途へ(機中泊)	○	×	機
9	成田着	8:50通関後、解散	機		

※上記スケジュールは、2014年3月現在のものであり航空機、バス等交通機関の都合、天候、現地事情により、旅程、見学、訪問順序、食事内容等が変更になる場合がございます。
 ※バラの開花時期に最もふさわしい時期を設定しておりますが、天候などの影響により、見頃が前後する場合もございます。予めご了承下さい。